



2021年6月16日

(以下は Cullgen Inc. による英文プレスリリースの日本語訳です)

Cullgen、臨床開発部門のリーダーに Mark Deeg 博士を任命

カリフォルニア州サンディエゴに本社を構え、標的タンパク質分解技術（独自の uSMITE™プラットフォーム）に基づく低分子治療薬を開発しているバイオテクノロジー企業である Cullgen Inc.（以下、Cullgen という。）は、2021年6月10日付で Mark Deeg 医学博士が Cullgen の臨床開発部門のエグゼクティブ・バイス・プレジデントとして加わったと発表しました。Deeg 博士は、多岐にわたる治療領域において医薬品候補の臨床開発をリードした優れた実績をはじめ、製薬業界での豊富な経験を有しかつ、高い評価を集めているリーダーであります。

Cullgen の President and Chief Executive Officer であるイン・ルオ博士は、次のように述べています。「Cullgen では Deeg 博士を心より歓迎すると共に、Cullgen の低分子治療薬の臨床開発に関して博士の貴重なご見識を賜ることを楽しみにしています。博士にはこれらの治療薬候補を前臨床から臨床段階へ移行させるプロジェクトを率いて頂きますので、非常にエキサイティングな時期に Cullgen に参画されたこととなります。当社は今後2年間に複数の IND 申請をする予定であり、博士は、有効な治療法を欠く消耗性疾患の新たな治療薬の開発において重要な役割を果たされていくものと考えています。」

Deeg 博士はトランスレーショナル医療及び医薬品開発における 25 年以上もの経験を有しています。ミネソタ大学で医学士 (MD) 及び医学博士 (PhD) の学位を取得後、ケース・ウェスタン・リザーブ大学で内科研修医及び博士課程修了後に研修の過程を終了し、その後、ワシントン大学で内分泌学フェローシップのフェローとなりました。さらには米国脂質協会のフェローとなり、10 年以上に渡りインディアナ大学で研鑽を積んだのち、臨床研究医として Eli Lilly に入社しました。Eli Lilly では、同社の内分泌領域ポートフォリオ向けの早期臨床試験を実施し、バイオマーカー戦略の監督を務め、その後同社のコーラス・グループのチーフ・メディカル・オフィサーに就任しました。コーラス・グループとは、同社の半自治的なグループであり、臨床的概念実証 (POC) の達成を目的として迅速な臨床開発プログラムに特化した革新的リサーチを行うグループです。2017 年、博士は Regulus Therapeutics にチーフ・メディカル・オフィサーとして移籍し、臨床開発のあらゆる側面を監督する職務に当たりました。2019 年、Pear Therapeutics に研究開発担当バイスプレジデントとして移籍し、同社のデジタル製品の臨床開発を監督しました。博士の経験は幅広い治療領域に及び、腎疾患、糖尿病及び代謝、がん、痛み、皮膚疾患、メンズヘルス、精神疾患、薬物依存、稀少疾患などの分野で、低・高分子治療薬、オリゴヌクレオチド、デジタル治療を含めた多様なアプローチを活用して取り組んできました。

Deeg 博士は、「Cullgen は、標的タンパク質分解剤について、人での最初となる臨床試験を開始し、この領域のポートフォリオを臨床試験の段階に前進させる準備を整えている段階であり、そうした Cullgen の薬剤開発の重要な時期に同社に参画させて頂き胸が躍る思いです。」と述べ、次のように付け加えました。「Cullgen には輝かしい未来が待ち受けており、同社の継続的な成功に貢献できることを非常に嬉しく思います。」

Cullgen について

Cullgen は、有効な治療アプローチを欠く疾患治療のための画期的な新規化学物質（NCE）を開発するバイオ医薬品企業です。最近のタンパク質分解科学の進歩を踏まえ、独自の技術プラットフォームであるユビキチンを介した低分子標的除去技術の標的タンパク質分解技術（uSMITE™）の開発を行っています。

通常、薬剤はタンパク質の機能部位と相互作用し、活性化を阻害するように設計されています。これに対し、Cullgen が開発した uSMITE™は機能部位阻害にとどまらず創薬パラダイムを広げ、これまで新薬の開発につながらないような酵素やタンパク質を標的破壊により排除できるようにしています。また、すべての細胞でタンパク質分解を制御する多段階生化学プロセスであるユビキチン・プロテアソームシステムを生かすために、uSMITE™技術を活用したいと考えています。プロテアソーム系に関する長年の研究とその組み立てに関する重要な発見の結果、Cullgen の創立者は、基礎となる技術が非常に強力かつ選択的で生物学的に利用可能な多数の化合物を迅速に生成できることを実証しています。さらに、このプロセスは、従前に比べ費用効果の高い創薬アプローチです。

（詳細は www.cullgen.com（英語サイト）をご覧ください）

以 上